（１）　水稲優良品種候補「道北３６号」について

上川農業試験場　水稲育種科（指定試験）

早生の良質耐冷耐病品種を開発するため、４９年に「永系７３６１」[1)]を母、「道北５号」を父として交配した雑種交代から選抜し育成したもので、生産力検定試験[2)]、特性検定試験[3)]、地域適応性検定試験[4)]を実施した。

本系統は、「しおかり」、「イシカリ」より耐冷性が強く、現在の奨励品種にくらべて最も強い。出穂期、成熟期は早生の晩、収量は「しおかり」、「はやこがね」にまさり、ほぼ「イシカリ」並の多収性を示す。

玄米品質は、「しおかり」より良く「イシカリ」並であるが、腹白を発現しやすい欠点がある。食味は「しおかり」よりや、まさる。

以上の特性から道北・道東(上川北部、網走、十勝)では、「しおかり」及びその他品種にかえ、道央の上川中南部、留萌では早生に配合し、また、空知、石狩、後志、胆振、日高および渡島、桧山北部における遍東風の影響が大きい地帯や山間部では、早生配合品種として普及し、稲作の安定、良質化をはかりたい。

なお、本系統は、普及地帯の生育環境からみて、①多肥栽培を避け、健苗育成、適期移植、適正な栽植密度・水管理で生育促進をはかる。②耐冷性を過信せずに深水かんがいを励行する。また特性からみて、③いもち病耐病性が十分でないので適期防除に留意し、④良質米を生産するために適期刈取りを励行する。

品種名	出穂期 月・日	収量 kg/10a	収量比 %	検査等級	食味	アミログラム 最高粘度 B.U	アミロース 含量比 %	障害型 耐冷性	いもち病 耐病性
道北３６号	７．３０	５５１	１０３	２上	上下～中下	４５３	１０１	強	中～や強
しおかり	８．３	５３４	１００	２中	中上	４３３	１０５	や強	や強
はやこがね	７．２９	５１１	９６	２上	中下	３８８	９９	強	や強
イシカリ	８．１	５６３	１０５	２下	中中	３７９	１０９	や強	や強

注）育成４年間の試験成績

１）永系７３６１：（Ｃｏｄｙ×そらち）×そらち、道北５号：ユーカラ×ふくゆき

２）生産力検定試験（早晩性、収量、品質、食味などの調査）は４年間実施。けっｋは表の通り

３）特性検定試験（耐冷性、耐病性の調査）は４～５年間実施。結果は表の通り。

４）地域適応性検定試験（道内各農試および各市町村における奨励品種決定調査事業）は上川、留萌、網走、十勝、空知、石狩、後志、胆振、日高、桧山、渡島の各管内および農試において３～１年間実施

目次に戻る